

○意見内容

市川市公共施設等総合管理計画の考え方について（案）に関する意見

No.	意見の概要	市の考え方・対応	意見分類
1	目標設定値を大幅に減とするべき（市が保有する公共施設（ハコモノ）の延床面積をさらに減らす目標とすべき）	<p>本市の財政はいただいたご意見のとおり、厳しい状況にあると認識しております。公共施設にかかる財政負担については、延床面積を減らすだけでなく、公民連携（PPP）の推進、維持管理の効率化、総合的かつ計画的な改修、売却や資産活用、補助金や特定財源の確保、工事実施時期の調整による年度間の財政負担平準化など様々な手法を通じて軽減していくことが重要であると考えております。（P11〔財政対策〕より）</p> <p>本計画の目標（120,000 m²の削減）につきましては、総人口や対象年齢別人口の推計を基に定めたものですが、ご指摘の今後の財政状況についても注視しながら、公共施設等総合管理計画の進捗管理を行ってまいります。</p>	今後の参考
2	リハビリテーション病院の経営改革を行うべき	<p>計画の考え方では、民間でもサービスの提供が可能なものについては、民営化を進め、施設の譲渡、貸付などを進めることとしています。（P12〔公民連携（PPP）の推進〕より）</p> <p>リハビリテーション病院につきましては、平成26年6月に出された「市川市リハビリテーション病院等運営懇話会」の提言も踏まえながら、効率的かつ効果的な経営手法に向けた見直しを検討しているところです。</p>	今後の参考
3	公衆トイレの洋式化を進めるべき	<p>計画の考え方では、快適に利用できる施設整備を進めることとしています。（P11〔ニーズへの対応〕より）</p> <p>いただいたご意見は具体的な事例でしたが、上記「考え方」の記述で包含できるものと考えます。</p>	盛り込み済